

川越都市計画土地区画整理事業の変更（日高市決定）

川越都市計画旭ヶ丘松の台土地区画整理事業を次のように決定する。

名称	旭ヶ丘松の台土地区画整理事業					
面積	約 35.1 h a					
公共施設の配置	道路	種別	名称	幅員	延長	備考
		幹線道路	3・4・50 号旭ヶ丘南通線	16m	約 320m	一部区間の幅員の変更
		幹線道路	3・4・54 号高萩旭ヶ丘線	18m	約 660m	
		上記2路線を根幹として、幹線道路（幅員 14m）、区画道路（幅員 6～9.5 m）、特殊道路（幅員 6 m）を宅地の利便に供するように適宜配置する。				
	公園及び緑地	種別	名称	面積	備考	
		街区公園	（仮称）松の台公園	約 0.93ha		
		緑道	（仮称）松の台緑道	約 0.13ha	幅員 6m	
土地利用等を考慮し、区域面積の 3%以上、かつ、計画人口 1 人当たり 3 m ² 以上の公園を配置する。						
その他の公共施設	区域内の下水を適切に処理できるよう、公共下水道を配置する。 地区内の雨水流出抑制対策を図るため、雨水貯留浸透施設を整備する。					
宅地の整備	圏央鶴ヶ島インターチェンジと狭山日高インターチェンジに近接する広域アクセスの優位性を活かし、工業・流通系の土地利用を図る。既存住宅、教育施設については、集約化による住環境の維持及び良好な教育環境への配慮を行い、各地区の地区特性に応じた計画的な土地利用を図る。					

「施行区域は計画図表示のとおり」

理由

本地区は、首都圏中央連絡自動車道の圏央鶴ヶ島インターチェンジから西へ約 3 km、狭山日高インターチェンジから北へ約 5 km と広域アクセスに優れた場所に存します。また、JR川越線の武蔵高萩駅から北へ約 0.7 km と徒歩圏にあり、総じて交通の利便性が高い地区となっています。

このことから、散発的かつ無秩序な開発等の都市的土地利用が進行し、今後もその圧力が高まることを見込まれます。

日高市の上位計画においても、産業・工業系ゾーンと位置付けられていることから、道路及び地域コミュニティの活性化や防災機能も期待できる公園などの公共施設を整備するとともに、周辺環境にも配慮した良好でコンパクトな工業系市街地の形成を図るため、土地区画整理事業区域約 35.1 ヘクタールを都市計画決定するものです。

都市計画として定める区域名

日高市大字旭ヶ丘字松の台の一部